

北陸石仏の会々報

大岩不動三尊の摸刻像と熊野権現

平井一雄

北陸石仏の会第50回例会「旧金津町と丸岡町の石仏」に参加した。
副会長 滝本やすしさんの案内で二十名の参加者が滝本さん作成の資料を
もとに十一ヶ所の石仏群を観賞した。

詳しい報告は別にされると思うので私が感銘した
丸岡町谷町二丁目の近藤家祭祀の「不動三尊」を報告
する。

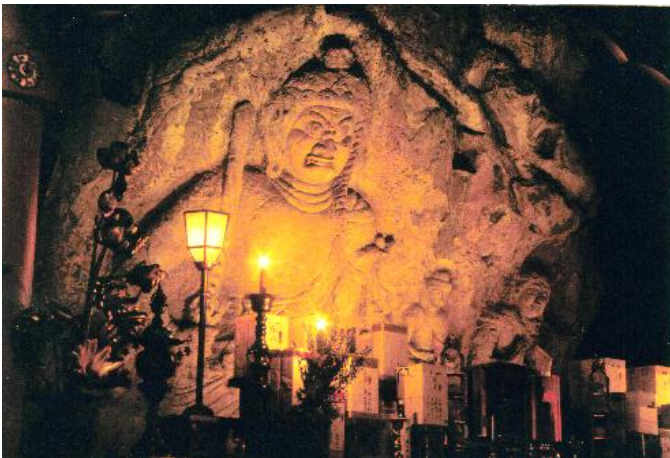
『北陸石仏の会々報第45号』に報告した関根新左エ
門の控帳『越中立山参詣記』の中に大岩日石寺が記さ
れている。写真と解説案を紹介する。

「右ハ熊野大権現長高童子」と記されている。

長高童子は「制多伽童子 せいたか童子」の当て字
であり、「金伽羅童子 こんがら童子」と反対になっ
ている。

近代の資料に「阿弥陀如来」とされている弥陀定印
の仏は熊野権現と記されている。

熊野権現の本地仏は阿弥陀如来であり、立山修験の
不動明王信仰に次いで熊野信仰の流入が考えられる。



1992(h4).10.20 撮影「大岩不動」



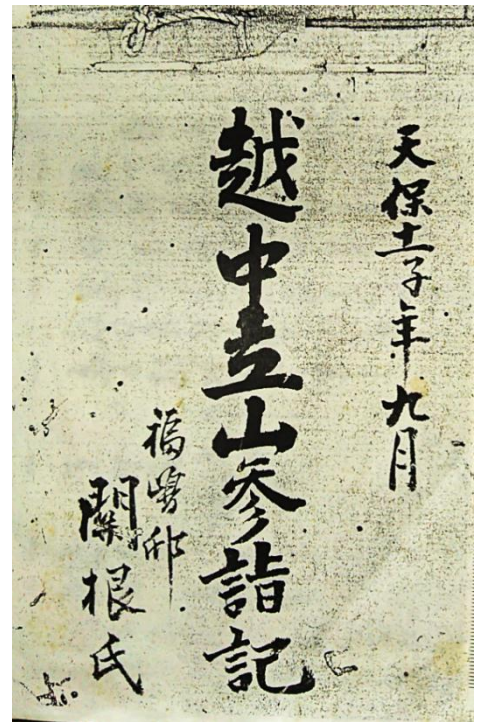
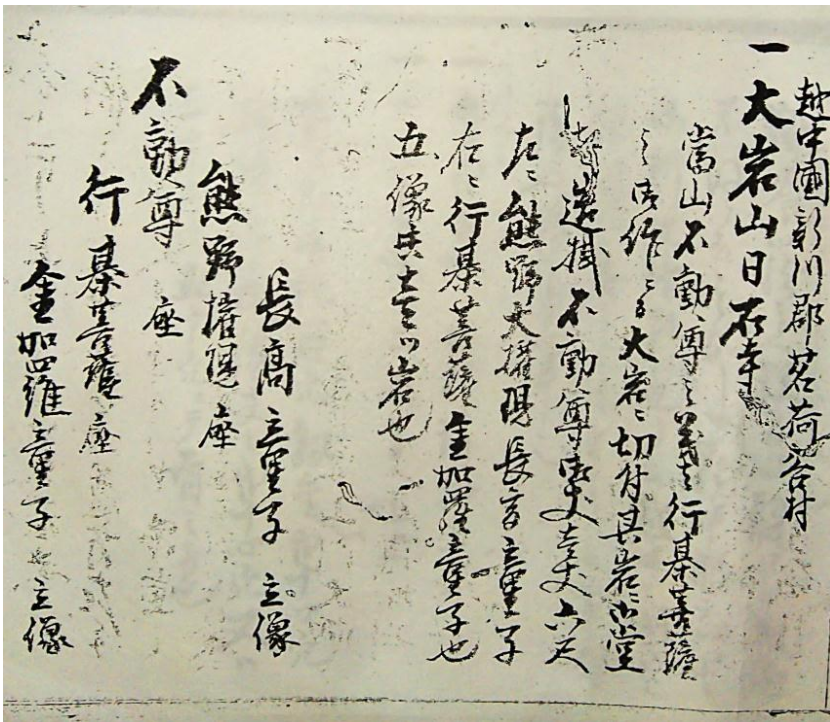
2015(h27).5.24 撮影 丸岡町谷町 2 丁目近藤家「不動三尊」

滝本さんの資料では近藤家の先代が京都から持ってこられたと書いてある
が、見学の途中で出てこられた女性の方が「亡くなったお祖父さまの目が不
自由で 大岩さんのお不動様を摸した石祠をお祀りされたそうです」とはな
された。
やはり大岩不動の霊験を信じて大岩不動摸刻像をこの丸岡町にも作られた
時代があったのである。

第47号
平成27年7月1日発行
編集と発行
北陸石仏の会
(日本石仏協会北陸支部)
代表 平井一雄
〒939-1315
富山県砺波市太田
1770 尾田武雄方
電話 0763-32-2772
振替 00740-2-11974
(年会費 3000 円)

- ・大岩不動三尊の摸刻像
- ・富山県内の参道狛犬
- ・鯖江市の二十五菩薩
- ・第50回例会報告
- ・平成27年度総会報告

『越中立山参詣記』の中に記された大岩山日石寺



〔翻刻文〕

天保十一年九月

越中立山参詣記

福嶋村

関根氏

越中國新川郡荻荷谷村

一 大岩山日石寺

當山不動尊之義者行基菩薩

之御作二而大岩二切付其岩二御堂

■造掛不動尊御丈壺丈六尺

右八熊野大権現長高童子(せいたか童子カ)

左八行基菩薩金加羅童子(こんがら童子カ)

五像共壺ツ岩也

長高童子 立像

熊野権現 座

不動尊 座

行基菩薩 座

金加羅童子 立像

富山県内の参道狛犬について

尾田 武雄

富山県の神社数は二二九六社（二〇〇九年調べ）あり、全国的にも十二番目に多い。そこには当然のように一对の狛犬がいる。神社によっては二対や三対がいる場合があるが、県内の神社の参道には狛犬が総数二二九六対以上あると思われる。石仏調査の折に、狛犬にも注目しているがその多くは、明治後期から昭和初期に造立されたものが大半である。これは明治政府の国策による神祠の合祀などの神社整理などの影響下にある。合祀は神社数を減らし威厳を保持することなどが主目的であった。いわゆる国家神道の政策もあった。明治末期に行われ、大正期にいよいよ村々にも浸透してくる。そんな中、参道狛犬の造像も大正期に一気に増える。また日露戦争に勝利しその記念に建立されるものも多い。庶民の動きも激しく、北海道移民や各地での出稼ぎなどで成功した里人の寄進も進んだ。それらの狛犬は、地元の石



富山市水橋辻ケ堂 高麗社の狛犬



富山市太田南町 刀尾神社の狛犬

工が精魂込めたものが多く、狛犬という単調と思われる対象物であるが、よく見ると実に精巧で個性があふれている。
ところどころで多くある狛犬であるが、江戸時代に造像されたものがあまり無いのに気が付いた。左表が、管見であるが県内の江戸時代の狛犬である。会員の皆さんで、この他にご承知であればご教示を願いたいと思います。

場所	神社	石工名	建之年
富山市月岡町三丁目	月岡新神社	善名村 石工 栄蔵・六三良	文久三年亥三月
富山市新庄町二丁目	新川神社	當所 石工 宇平	文久三年癸亥三月
富山市水橋辻ケ堂	高麗社	高田石工 金蔵	弘化二年 七月
富山市太田南町	刀尾神社	石屋村 石工 牧喜右エ門	元治二年乙丑二月
富山市中野新町二丁目	白山神社	石工富山住 見上兵エ門	文政三庚辰八月吉日
富山市飯野新屋	広田神社		慶応三年
富山市西番	神明社		慶応三年八月
富山市岩瀬白山町	諏訪社	長州赤間関 石工藤屋伊兵衛	嘉永七年
滑川市常盤町	櫛原神社	石工越前福井石坂町 井上市 右エ門孝紀	文化二年六月

鯖江市の二十五菩薩石仏

滝本 やすし

はじめに

福井県鯖江市指定文化財の石仏を訪ねた。その中に、二十五菩薩の一部と思われる石仏七体を確認した。

神明町二丁目八幡神社境内の石仏

神明町二丁目八幡神社の拝殿右手の木造堂内に、笏谷石製の三体の石仏が納められている。鯖江市のホームページに、市の指定文化財として次のように記述されている。

八幡神社の石仏(三軀)

指定 《市指定》 平成二十二年二月十日

所在地 鯖江市神明町二丁目

管理者 神明町二丁目、幸町一・二丁目、田所町

時代 十六世紀(室町時代後半)

観音菩薩二軀、不動明王一軀からなる石仏群である。八幡神社境内地は、国指定史跡・兜山古墳の指定地であり、神社社殿および石仏は古墳墳丘上に立地している。これらの石仏は、古墳の近くから出土したと伝えられている。

板状の笏谷石に像を中肉掘りしており、三軀とも比較的完形に近い。一石に不動明王三尊を彫刻している例は、県内でも数少なく貴重である。

八幡神社の三体の石仏は、向かって左から、月光王菩薩？(立像)、不動三尊(立像)、白象王菩薩(立像)と思われる。二体の菩薩は観音ではないようである。

有定町二丁目春日神社の石仏

有定町二丁目春日神社の本殿右手の木造堂内に、笏谷石製の九体の石仏が

納められている。鯖江市のホームページに、市の指定文化財として次のように記述されている。

春日神社の石仏(九軀)

指定 《市指定》 平成二十二年二月十日

所在地 鯖江市有定町二丁目

管理者 有定町一・二・三丁目

時代 十六世紀(室町時代後半)

阿弥陀、観音、聖観音、千手観音からなる石仏群であり、石橋として利用されていたとの伝承がある。

石仏は笏谷石製で、舟形光背に像を中肉彫りで成形している。一ヶ所に九軀ものまとまった石仏が確認された例は少なく貴重である。

春日神社の九体の石仏は、向かって左から、法自在王菩薩(立像)、准胝観音(座像)、大威徳王菩薩？(立像)、阿弥陀如来(座像)、三昧王菩薩(立像)、定自在王菩薩(立像)、千手観音(立像)、尊名不明(座像)、金蔵菩薩(立像)と思われる。鯖江市のホームページに記述されている聖観音は確認できない。

来迎二十五菩薩

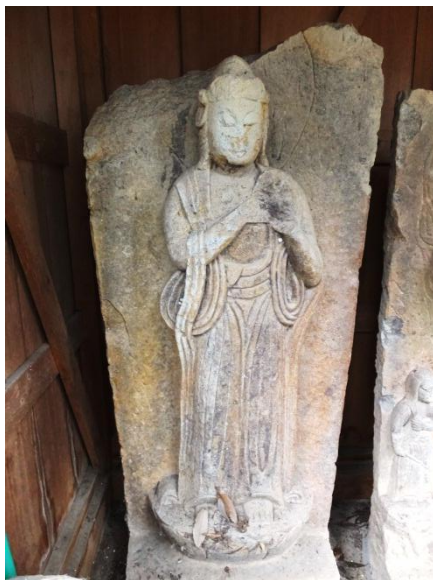
二十五菩薩とは、臨終の際に阿弥陀如来と共に極楽浄土から迎えに来る、観世音菩薩、薬王菩薩、大勢至菩薩、薬上菩薩、普賢菩薩、陀羅尼菩薩、法自在王菩薩、白象王菩薩、虚空蔵菩薩、徳蔵菩薩、宝蔵菩薩、金蔵菩薩、光明王菩薩、山海恵菩薩、金剛蔵菩薩、華嚴菩薩、日光王菩薩、衆宝王菩薩、月光王菩薩、三昧王菩薩、獅子吼菩薩、大威徳菩薩、定自在王菩薩、大自在王菩薩、無辺身菩薩の二十五体の菩薩である。二十五菩薩は出典により持物等が異なるので、尊名の判断には注意を要する。

二十五菩薩石仏

神明町二丁目八幡神社および有定町二丁目春日神社の、月光王菩薩？、白象王菩薩、法自在王菩薩、大威徳王菩薩？、三昧王菩薩、定自在王菩薩、金



白象王菩薩



月光王菩薩？



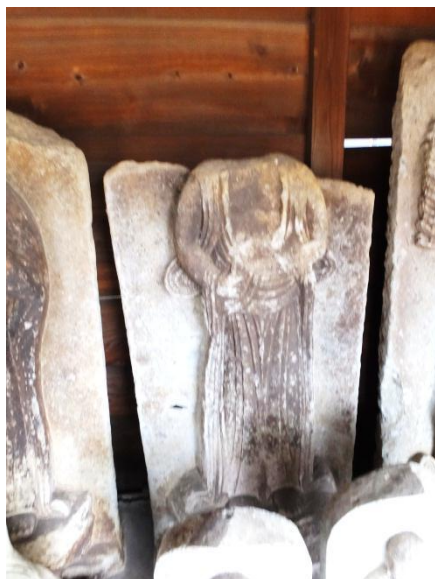
大威徳王菩薩？



法自在王菩薩



金蔵菩薩



定自在王菩薩



三昧王菩薩

蔵菩薩の七体は二十五菩薩に属するものと思われ、当初は二十五体が作られたのではないかと考えられる。明治の廃仏毀釈の際に壊され、土中に埋められ、後に出土したのであるか。他所にも残りの菩薩像が、何体か保存されていないだろうか。

滋賀県大津市坂本の西教寺の笏谷石製の二十五菩薩と手法が良く似ており、同時期(十六世紀後半)の作と考えられる。二十五体全てが揃っていたならば、同様の素晴らしい石仏群であっただろう。春日神社の阿弥陀如来座像が中尊であったのかは不明である。

第49回例会報告 「石仏めぐりに初参加して」

高田 美也子

「何事のおはしますをば しらねども かたじけなきに 涙こぼるる」

集合場所に向かう車中で聞いた番組の最後で、万葉集の先生が引き合いに出されたこの西行の和歌を 帰りの車中でフツと思ひ出しました。

番組内ではたしか、どんな神様がいて、どんなことが行われているのか判らないけれど、ありがたさに涙がこぼれてしようがない。

それは恩を感じて生きるということが一番大切なこと。神様の名前や仏様の名前もよく判らないけれど、しかし恩を感じていれば良い。それが日本の信仰風土ではないかとおっしゃっていたように聞こえました。

初参加の私は、今日たくさんの石仏や石造物を巡らせて戴きました。

古代の横穴古墳から近代の墓地まで、立派で巨大なものから忘れられ傷んだ石仏まで、大名の菩提寺から村の鎮守・個人の屋敷神までとそれはさまざまでしたが、等しく祈りの心を感じたように思いました。

作った人、守り続けている方々の温かいお心を感じ、それらを教えてくださる得難い皆様に出会えたこともありがたく思いました。

帰りの車の中で 番組中に上野先生がおっしゃっていたのは 「こういう事かしら」と思い起こし、改めて今日のご恩とご縁に感謝したのです。

帰宅してから 楽しく眺めた写真の数々

見上げんばかりの多宝塔に刻まれた石工の遊び心

郷土歴史資料館で見た狛犬たち

柵古墳はどなたが眠っていらしたのでしよう

田畑をやさしく見守る、美しい善光寺式阿弥陀三尊

白山妙理権現は気品高いお姿、

本多・有馬 両大名家の豪壮な歴代墓標。

至る所で笏谷石がふんだんに使われ、この里の歴史と豊かさを感じました。重要文化財丸岡城の屋根にも使われている笏谷石はこの地の特産。

きめ細やかで、やや青みを帯びた色合いの良さと 細工がしやすいという持ち味が いかんなく発揮され スツカリ魅了させられました。

笠間神社の六十六部の傷んだ石仏はお気の毒。大事に拝まれていた頃をそつと想像しました。今はとても痛々しいけれど、そこに集めてくださった方々がいらして本当に良かった。

珍しい狛犬たちも印象的。「コマちゃん」と声を掛けたくなるほど愛らしいものから、子供を抱いた獅子、玉を啜えたもの。髪型もオカッパから巻き毛までいろいろ。狛犬がとっても好きになりました。

弁財天宮で 弁「才」は才能、弁「財」は財宝を与えてくれる。でも「弁」は弁える。つまり「分」を弁えることが大事と教えて戴いたことも心に残りました。

最後にお訪ねした近藤家の玄関先の石祠では、奥様が お参りへの感謝と由来についてお話し下さいました。

亡くなったお祖父さまの目が不自由で 大岩さんのお不動様を摸した石祠をお祀りされたそう。先頃、大岩のお不動様の厳石を廻り出る「藤水」は、ホウ酸分が含まれているので目の病気に効くと昔から多くの参詣者が通われ、加賀藩には名医が多いけれど眼科医はいらないとまで言われていたという話を聞いたばかり。それを裏付けるリアリティーに富んだお話に頷きながら、今も大事にされている様子に温かいものを感じました。

麦秋の旧金津町と丸岡町をめぐる和気あいあいのバス

見るもの 聞くもの すべてが新鮮。石仏の里も 石仏を愛する人たちも みんな心優しく爽やかで、楽しく学べて心から感謝致しました。

これらがとても楽しみです。どうぞ よろしくお願い申し上げます。

左手に斧を持つ
牛頭天王は 左利き？



古墳の奥壁の梵字
私にも写せました



蓮の花の間にお坊様、
龍の鬚などの遊び心も
石工の本領とか！



子を抱いた獅子
親子っていいですねえ



可愛いコマちゃんたちの
多いこと。至るところで
お見かけしました。



屋敷神の祠でも コマちゃんが
木漏れ日を浴びていました。
胸キュンです！



飛天や蓮の花
見事なお墓の数々
豪華さに ウットリ！



お墓のお地藏様は
小屋の中
この優しさが好き。



感謝の気持ちが
伝わってくる
軍満期記念の奉納灯籠



坂井市丸岡町笹岡の笠間神社にて記念撮影

北陸石仏の会 平成27年度総会報告 2015.5.24 事務局

平成26年度決算

収入の部

項目	予算	決算	備考
前期繰越金	215,046	215,046	前年度繰越金
会費	105,000	87,000	29人×3000円
雑収入	24	43	貯金利子
合計	320,070	302,089	

支出の部

項目	予算	決算	備考
事務費	10,000	0	
会報費	20,000	20,000	会報
郵送費	10,000	0	
会誌費	220,500	220,500	
予備費	59,570	0	
合計	320,070	240,500	

302,089 - 240,500 = 61,589 次年度繰越金 61,589 円

平成27年度予算案

収入の部

項目	前年度決算	今年度予算	備考
前期繰越金	215,046	61,589	
会費	87,000	90,000	
雑収入	43	31	貯金利子
合計	302,089	151,620	

支出の部

項目	前年度決算	今年度予算	備考
事務費	0	10,000	封筒など
会報費	20,000	20,000	会報・発送費
郵送費	0	0	切手代
会誌費	220,500	121,620	『北陸石仏の会研究紀要第12号』
予備費	0	0	
合計	240,500	151,620	

平成27年度事業計画

- ・ 5月24日 第50回例会 「福井県旧金津町と丸岡町の石仏めぐり」
- ・ 10月 第51回例会 石川県(詳細未定)
- ・ 会報年2回発行

役員構成

- ・ 顧問 北村 一朗
- ・ 会長 平井 一雄
- ・ 副会長 滝本 やすし
- ・ 事務局 尾田 武雄
- ・ 監事 富山
- ・ 理事 石川
- ・ 理事 富山
- ・ 理事 福井
- ・ 理事 酒井 靖春
- ・ 理事 池田 紀子
- ・ 理事 松井 兵英
- ・ 富山
- ・ 石川
- ・ 富山

平成27年度の会費を未納の方は、同封の振替用紙にて納めてください。年会費は3000円です。